



第78号



夏休みの思い出



トランプゲーム

昭和25年(1950)頃

お誕生日会にて、当時のご馳走であったオムレツを食べた後のトランプゲーム。

男子は丸坊主、女子は、前髪をかなり上の方で切りそろえ、うなじから上を刈り上げて涼しくするヘアスタイルが定番でした。

個人提供

猿猴川河口付近での川遊び

昭和34年(1959) 瀬崎(南区)

昔は、泳ぐといえど身近に川がありました。飛び込み台が設置され、監視員のもとで川遊びを楽しみました。

しかし次第に、川の汚染がひどくなり、昭和39年に猿猴川での水泳が禁止され、41年までに市内の全河川で泳げなくなりました。

大下隆雄氏提供



宇品水族館

昭和35年(1960)頃 元宇品(南区)

宇品水族館にて乗り物を楽しむ子どもたち。水族館は「天然水族館」という名称で昭和33年に開館しました(昭和45年頃閉館)。水族館は、池の底が地下室からガラス越しに見えるようになっていて、泳ぐ魚を観察できるのが売り物でした。水族館には、海水プールや動物園、そのとなりには海水浴場もあり、一日遊ぶことができました。

広島市郷土資料館蔵

平成21年度前半(4月～9月)に実施した事業

企画展

広島県の遺跡を掘る

～考古遺物から見る広島～

【会期】4月11日(土)～7月5日(日)

広島市内の遺跡の発掘調査は、(財)広島市文化財団文化財課によって日々行われています。しかし貴重な資料があるにもかかわらず、その出土品は展示機会や場所がなく、公開されてないものも多くあります。そこで郷土資料館では毎年4月～6月頃に文化財課と共催で、古代の歴史や考古資料を紹介する企画展を行っています。

社会科学では、小学6年生がはじめて日本の歴史を学び始めます。中でも4月、5月ごろは古代の日本について学習する時期で、そのときに、古代の遺物を見学できる機会があるかどうかは、今後の歴史学習の興味付けという観点からも重要な意味があります。

説明パネルやキャプションを小学生が理解できるように平易な文章とし、古代の遺物だけ展示するのではなく、各時代の歴史背景なども紹介し、現代の広島とつなげていきました。

期間中は教室事業も開催し、土器やはにわを作ったり、勾玉を作る事業を行いました。子供たちは教科書で学んだ内容を実体験とおして理解し、か

なり興味を示していました。

また、今年度は、安芸区中野東から出土した男性人骨を下関市土井ヶ浜人類学ミュージアムより借用し、実際に1500年前に広島に住んでいた人の骨を見ていただきました。広島は骨などの有機物が残りにくい土壌なので、人骨などを見る機会は少なく、骨から読み取れる情報などを、皆さん興味をもって観察されておられました。

古代の広島の人々のくらしに興味を持ってもらうことで、先人の知恵や工夫に触れていただければと考えています。

(小林 奈緒美)



「古代の土器づくり」

共催 イベント

おばけの夏休み

この夏、アステールプラザと共催し、アステールプラザ「市民ギャラリー」で夏休み特別イベント「おばけの夏休み」を開催しました。7月24日(金)～26日(日)の3日間という、短期間のイベントでしたが予想をはるかに上回る4200人以上の方々に入場していただき、非常に好評でした。

博物館、区民文化センター、図書館等の施設を管理運営する文化財団では、各施設の特色を生かしながら、よりレベルの高い利用者サービスを目指し、ここ数年、様々な分野での連携事業に力を入れています。今回も郷土資料館とアステールプラザで協力し開催することで、より規模の大きな事業となり、多くの方に利用していただくことが出来まし

た。

郷土資料館

の夏の企画展「夏休みの思い出」の一環として開催し、おばけとすこす夏休

み・・・がコンセプトとなっています。ギャラリー全体を使い、「おばけ屋敷」「おばけの工作」、「おやつの一銭洋食づくり」などのブースを展開しました。レトロなおばけ屋敷は特に人気で、入場制限などもありましたが、来年度も更に規模を拡大し、開催日数なども検討し、より多くのお客様に満足していただける事業にしていきたいと考えています。



お化けの工作「おばけのせんぼうき」



一銭洋食づくりコーナーは長蛇の列

(小林 奈緒美)

夏休みの思い出

【会期】7月18日(土)～8月30日(日)

子どもたちにとってはいづかの時代も、待ちわびた夏休み！ 本展では、昭和二十～四十年代を中心に夏休みをふり返り、暮らしや遊びなどについておよそ一六〇点の写真や道具資料で紹介しました。「夏の縁側」、「夏の一日」、「夏のフアッション」、「夏の茶の間」、「夏の涼感を楽しむ」、「夏の天敵！虫よけ対策」、「夏の水遊び」のコーナーに分け夏模様を懐かしんでもらいました。「夏の縁側」コーナーでは、物干し台の洗濯物、井戸から水を汲むための手押しポンプ、縁側廊下の先にある便所、よしずの障子、板塀に貼られたホロー看板などの再現展示をしました。



再現した夏の縁側風景

縁側には、夕涼みの遊びで思い出深い将棋、必需品だったハエ叩き、昭和三十年代のうちわや扇風機などを展示しました。うちの絵柄には、夏模様のほか、当時の人気女優が涼やかに微笑んでいる柄もあり、本展では「山本富士子」と「美空ひばり」のうちわを紹介しました。

「夏の一日」コーナーでは、夏休みの宿題をメインで紹介しました。宿題で思い出されるのが「夏休み帳」です。

これは長期休暇中の小・中学生のために自学自習用の補助教材として開発されたワークブックで、市や県の教職員組合などが発行してきました。広島では昭和二十五年(一九五〇)から平成十八年度(二〇〇六)まで発行されました。発行当初はB5版でしたが、平成に入るとA4版になり、文字も大きくカラーが豊富になりました。広島の夏休み帳には、原爆を扱う平和教育のページが必ずあり、昭和三十三年(一九五八)の小学一年生の夏休み帳には、同年に完成した平和公園内の「原爆の子の像」について記されています。



昭和25年度『夏休み帳』
広島県教育用品備所蔵

また、昭和二十～三十年代の夏休み帳には、当時の衛生問題として抱えていた、虫の媒介による伝染病予防の害虫対策について子ども達に害虫駆除の方法や、害虫の名前、駆除の必要性を質問や算数問題で説いています。



ハエ退治に関する問題

夏には、はい(はえ)がたくさんいます。

- ①はいはなぜおそろしいのですか。
- ②はいをとるにはどんなどりかたがありますか。
- ③とったはいはどうしますか。

(小学1年生『夏休み帳』より抜粋)

またロビーでは、昔の遊びコーナーを設け、おはじき、めんこ、ぬりえ、けんけんぱ、コマ、竹ぼっくりで長時間遊ぶ子ども達で盛り上がりました。(山縣 紀子)



昔のおもちゃで遊ぶ子供たち
けんけんぱは、特に人気でした。

教室

伝統的な物づくりや昔ながらの遊びを体験する教室。幼児対象のものから大人も参加できるものまで多彩な事業を行いました。

4/18	古代の土器作り
4/25	土偶ストラップ作り
4/26	宇品めぐり
4/29	勾玉作り
5/16	はにわ作り
5/23	泥めんこ作り
6/6・7	藍でハンカチ染め
6/13	将棋をはじめよう！
6/28	七夕飾り作り
7/19	漆喰ボール作り
7/25・26	藍染めTシャツ
8/7・8・9	折り染めのうちわ作り
8/15・16	勾玉作り
8/22・23	石ころアートに挑戦！
8/29・30	ところてん作り
9/12	糸紡ぎ体験
9/19	ごんの人形作り

大人向け講座

18歳以上を対象とした講座です。大人ならではの手ごたえあるプログラムを用意しました。

- 5 / 31 左官仕上げのプランター作り
- 6 / 19 大人の染色体験



「左官仕上げのプランター作り」

夏休みカンタン工作

事前申し込みなしで参加できる夏休み中のイベント。今年の催し「おぼけの夏休み」との関連でおぼけをテーマにしたカンタンおもちゃなどを作り、毎日おぼせいの参加者でにぎわいました。

- 7 / 28・29 おぼけのまゆ玉人形作り
- ・ 30・31
- 8 / 11・12 おぼけの風鈴
- 8 / 13・14 おぼけののぼり人形
- 8 / 18・19 くるくるキラリン棒
- 8 / 20・21 おぼけのせんぷうき

郷土ナイトミュージアム

8月1日(土)、開館時間を延長してナイトミュージアムを開催しました。照明が落とされた館内には、昔の夜の雰囲気があります。おりしも企画展「夏休みの思い出」が開催中で、2階のおぼけ屋敷ではいつも以上に子どもたちの悲鳴や歓声が起こっていました。そのほかにも、2階の講堂では「ふしぎな科学の実験ショー」(江波山気象館共催)が行われ、光と炎のふしぎな世界を体験しました。1階の常設展示室では「ナイトミュージック」(安芸区民文化センター共催)が行われ、琴と三味線の美しい音色が響きわたりました。多くの方にいつもとひと味違う郷土資料館を体験していただきました。



「ナイトミュージック」

(牛黄著 豊)

被爆建物案内

8 / 5・6

①被爆建物案内 ②宇品港出兵映像の上映 ③戦中戦後に食べられた江波団子の試食会を実施しました。

その他の事業・館外活動

- | | | | |
|-----------|--|--------|---|
| 4 / 19 | 博物館見学実習・広島修道大学 | 8 / 1 | インターンシップ実習・比治山大学(3名、2名9日間、1名6日間) |
| 4 / 22 | 早稲田公民館でふれあいいききサロン「よりみち」で | 8 / 10 | 坪井公民館で夏休み工作クラブ「土代人のアクセサリーを作ろうまが玉のペンダント」 |
| 5 / 3・4・5 | 「藍染めのハンカチをつくろう」 | 8 / 7 | 早稲田公民館でサマースクール「藍染めのハンカチ作り」 |
| 5 / 3・4・5 | フラワーフェスティバルに工作ブース「こいのたき | 8 / 8 | 早稲田公民館でサマースクール「藍染めのハンカチ作り」 |
| 5 / 9 | 中区図書館子ども読書まつりで | 8 / 17 | 博物館実習(2名、8月24日まで) |
| 5 / 19 | 「おさんぎつねをつくろう!」 | 8 / 19 | 早稲田公民館で夏休み子ども教室「歴史工作 土笛作り」 |
| 6 / 6 | 似島臨海少年自然の家「ニノシマボタルを育てる里人の集い」でほたるのご作り指導 | 8 / 22 | 安芸区民文化センター子ども工作室「折染うちわ作り」 |
| 6 / 19 | 学芸員見学実習・安田女子大学文学部心理学科と家政学部生活デザイン学科 | 8 / 22 | 広島県立歴史民俗資料館ふどきの丘体験教室「藍染に挑戦しよう」 |
| 6 / 22 | 二葉公民館ことぶき学級で | 8 / 23 | エネルギー住宅工房で「この夏 古代人体験!」 |
| 6 / 27 | 博物館見学実習・広島文教女子大学 | 8 / 27 | 打ち水大作戦2009中区(こどもまつり会場工作コーナー) |
| 6 / 30 | 博物館見学実習・安田女子大学文学部日本文学科 | 8 / 27 | 打ち水大作戦2009南区荒神会場工作コーナー |
| 6 / 23 | ヒューマンレクチャークラブ郷土史講座で「広島市民球場の記憶」 | 9 / 12 | 南観音公民館「なつかしい昭和の日」展示協力 |
| 7 / 29 | インターンシップ実習・広島 | 8 / 18 | |

9 / 23 こころふれあい体験コーナー

ーで「竹ひご細工くるくるキラリン棒」

トピックス

博物館実習・インターンシップ実習

今年度の実習は、今年初めての共催イベント「おぼけの夏休み」を初め特別展や連日の教室事業、ナイトミュージアムなど盛りだくさんの事業にお客様が押し寄せる時期に行われました。

インターンシップは、7月下旬に初めての高校生（広島市立広島工業高校3名）を、8月初旬に3人の大学生（比治山大学3名）を受け入れました。教室事業の補助などお客様と直接接する仕事のほか、高校生には他の事業所ではおそらく経験できないと思われるおぼけ屋敷の設営も参加してもらいました。みんな真剣に作業に取り組んだと実習日誌に書き込んでいました。大学生は受付業務を経験し、お客様対応やショップの受付の厳しさを実感したようです。しかしそれ以上にお客様とのふれあいを楽しんでいました。各々の実習生が自分なりに設定した課題を解決しながら日々の業務に当たっていきまされたので、充実した実習になったと思います。

博物館実習は、2人（八洲学園大学、

広島女学院大学）を受け入れました。例年同様、教育普及事業を中心とした一週間のカリキュラムですが、実習生のニーズに合わせて一人は集中日程、もう一人は分散日程で実施しました。最初からアステールプラザに行つてハードな館外事業に参加してもらったほか、

カンタン工作「まゆ玉人形作り」の指導や「被爆建物解説」、新収資料のマーキングなどを行いました。しかし、来館者と直接接しての指導は、ダイレクトに現場での反応を感じることできる、得がたい機会になったことでしょう。

その他にも、4大学6学科の82人を見学実習で受け入れました。実習生の皆さんには、当館での実習を通じて博物館や社会教育に関心と理解を深めていただけたことと思います。

（前野 やよい）



ミュージアムショップ

当館では受付の周辺でミュージアムグッズの販売をしています。仕入れから販売まで職員の運営する小規模なものですが、来館された方に楽しんでいただけるような空間づくりを目指しています。

ミュージアムショップを始めた頃は調査報告書や図録の販売だけでしたが、現在はその他に、広島や昔のくらしに関連する一般書籍、企画展・特別展の関連商品も取り扱うようになりました。そして、企画展・特別展の関連商品は、当館のミュージアム



「夏休みの思い出」期間中のショップ

ショップの大きな特徴でもあります。企画展「夏休みの思い出」では、昭和の駄菓子屋さんを思い起こさせるようなコーナーを作り、スーパーストールくじやシャボン玉、ラムネなどを販売しました。子どもには珍しく、大人に

は懐かしい商品は、大人が子どもに遊び方を教えるなどコミュニケーションの材料にもなったようです。

今後とも来館された方が満足していただけるような空間を提供していきたいと思ひます。

（綿谷 久美子）

今年度後半の展示

企画展

ごんぎつねが語る昔のくらし

【会期】9月5日（土）～2月7日（日）
新美南吉の童話「ごんぎつね」のストーリーを交えながら、登場するさまざまな昔の道具や情景を再現・展示して紹介します。

特別展

旅する民俗学者

宮本常一と広島

【会期】10月17日（土）～12月20日（日）
生涯を旅にすごした民俗学者宮本常一（一九〇七～八二）が撮影した、昭和30～50年代の広島の写真二〇〇点を公開します。

企画展

お花見

【会期】2月20日（土）～4月4日（日）
広島では、4月3日（または4日）になるとお花見を楽しみました。花見のイメージの変化や広島の花見の名所、花見の楽しみお弁当などを紹介します。

新館長あいさつ

郷土資料館の裏には、3本の枝垂れ桜があります。私が着任した4月初めにはすでに満開を過ぎていましたが、それでも何か華やかな雰囲気を感じたものです。夏には蝉の大合唱が響く中、太陽に眩しく照らされていた深緑の葉も、今や薄茶褐色となり、僅か残るのみとなりました。

今年、広島が明治22年に市となって120年目という節目にあたりますが、海だつた宇品が干拓されて陸地となったのも同じ年のことです。

その後、当館の建物となっている陸軍宇品糧秣支廠が明治44年に建設されます。当時、広い干拓地に現れたレンガ造りのモダンな建物は、さぞ人々の目を惹いたことでしょう。

被爆を経て、戦後も民間の食品工場として使われていた建物もその役割を終え、昭和60年には郷土資料館として生まれ変わりました。

広島近現代史を見てきたレンガ建物の郷土資料館では、資料の収集・調査を基に、様々な展示やイベント、レファレンス業務などを行っています。館内をご覧になった後は、昔に思いを馳せながら裏の公園でちよつとのんびりするのはいかがでしょうか。

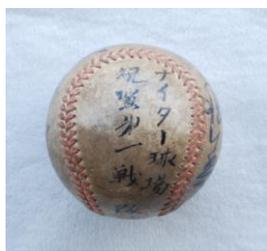
皆様のご利用をお待ちしています。

沼田 有史

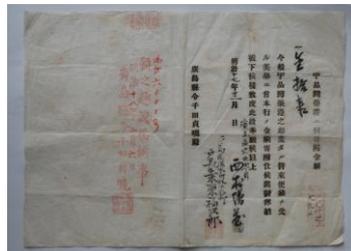
寄贈資料(平成21年4月～9月受入分)



鋳物用粘土型



ウィニングボール



「宇品湾築港ニ付寄付金願」



手回し洗濯機



カープうどん暖簾



白黒テレビ



味の素缶

資料内容	件数	寄贈者(敬称略)
鋳物用粘土型等鋳物産業資料	273	二宮英子
広島市民球場初ナイターウィニングボール	1	上田原徳
カープうどん暖簾、カープうどん食券	各1	石本弘治
「宇品湾築港ニ付寄付金願」	1	西村 勲
行灯、ブリキ製便器、まな板、バケツ おろし金、ちりとり、手回し洗濯機 白黒テレビ、ニッカウスキー瓶 森永ハネー瓶、味の素缶	各1	山縣俊二郎

ひろしま郷土資料館だより 第78号

【編集・発行】

(財)広島市文化財団 広島市郷土資料館
〒734-0015

広島市南区宇品御幸二丁目6-20

TEL (082) 253-6771 / FAX (082) 253-6772

http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/

【発行年月日】

平成21年(2009)11月11日



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS